

第 7 6 2 回

東京都青少年健全育成審議会

議事録

※ 発言者の氏名（都職員及び関係行政機関職員を除く）
及び個人情報、一部企業名など、議事録の一部を伏せて
掲載しています。

日 時：令和 7 年 9 月 8 日（月曜日）

【出席委員】

飯塚 美紀子 委員

渡瀬 昌彦 委員

石川 知春 委員

伊藤 廣幸 委員

加藤 美恵子 委員

山下 陽枝 委員

関口 哲也 委員

柳川 雅彦 委員

佐久間 和美 委員

伊藤 貴行 委員

榎本 光宏 委員

高島 由紀子 委員

【事務局】

若年支援事業担当部長 村上 章

若年支援事業課長 山本 理

(午後 3 時 30 分開会)

○若年支援担当課長 本日の傍聴人でございますが、報道関係者は 0 人、傍聴人は 6 人、内、オンラインによる傍聴人は 0 人となっております。まもなく傍聴人が入ってまいります。

(傍聴人入室)

○若年支援事業課長 それでは審議会を始めさせていただきます。

初めに、新しく委員となられました方のご紹介をいたします。第 4 号「関係行政機関の職員」、藤木委員の後任として、警視庁 生活安全部 少年非行対策官 伊藤 貴行 委員でございます。

○伊藤貴行委員 よろしく願いいたします。

○若年支援事業課長 よろしく願いいたします。

また、先の東京都議会議員選挙に伴いまして、第 3 号委員のうち、東京都議会議員の各委員から 7 月 22 日付けで辞任願いが提出されましたので、同日付けで委員を解嘱しております。新しい委員の方は、まだ都議会からご推薦をいただけておりません。もう間もなく、都議会からご推薦いただく予定となっていると聞いております。

現在ご出席いただいております委員の方は 12 名で、条例第 24 条第 1 項に定めます審議会の開催に必要な定足数に達しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、会長、議事進行をお願いいたします。

○会長 それでは、ただ今から「第 762 回東京都青少年健全育成審議会」を開催いたします。お手元の議事次第に従いまして議事進行を行ってまいります。

それでは、議事の 2 「条例に基づく事務の施行経過」について、事務局から説明をお願いいたします。

○若年支援事業課長 条例に基づく事務の施行経過等について説明いたします。

「次第」と書かれております資料の表紙をおめくりいただき、1 ページをご覧くださいと存じます。前回の審議会以降の 8 月 4 日から 9 月 7 日までに実施

いたしました本審議会事務局の動きをまとめたものでございます。

前回審議会のご意見を踏まえまして、優良映画として1作品を推奨することを決定いたしました。8月7日にプレス発表、関係各署への周知を行い、8月13日に公告いたしました。

また、青少年やその保護者等を対象に、「ファミリールール講座」を1回開催致しました。

また、本日の諮問に先立ちまして、9月3日に出版業界自主規制団体との打合せ会を実施し、本日諮問いたします図書類に関するご意見をいただいております。意見聴取の内容は「自主規制団体からの聞き取り結果」としてまとめ、調査・審議事項の資料に添付しておりますので、後ほどご説明させていただきます。

2ページ及び3ページをご覧ください。過去1年間における条例の適用状況をお示ししております。2ページには、過去1年間の8条指定図書類の指定実績を、3ページには、過去1年間の優良映画の推奨実績を載せてございます。

8条指定図書類については、過去1年間以内に指定を6回受けた場合に、事業者に対し勧告をする制度がございますが、累回指定による勧告の対象社はございません。

続きまして、4ページをご覧くださいと存じます。こちらは都が委嘱しております、東京都青少年健全育成協力員の8月分の活動状況でございます。

8月の活動者数は17名、調査店舗数は52店舗でございました。確認する図書類は、「8条指定図書類」、「成人向け」などの成人マーク付きの図書類である「表示図書類」、青い半透明のシールで止めることで青少年が容易に閲覧できない措置がされた、小口シール止め誌の「類似図書類」の3種類です。この3種類の図書類について協力員の調査結果を、それぞれ表に示しています。8月におきましては、8条指定図書類、表示図書類、類似図書類及び、青少年への販売等を制限する制限掲示について、問題のある店舗はございませんでした。なお、

8 条指定図書類に関する通報等に基づく立入調査はございませんでした。

5 ページからは、都の職員による独自の立入調査等の実施状況を記載してございます。一番目の表、書店等への立入調査では、指定図書類の取扱い不適切な店舗が 1 店舗ございました。三番目の表、カラオケボックス、まんが喫茶等への実態調査では、青少年制限掲示がされていない店舗が 1 店舗ございました。問題があった店舗につきましては、その場での是正措置を含め、条例を順守するよう指導いたしました。

続きまして、6 ページをご覧いただきたいと存じます。雑誌・ビデオ類等に関する自動販売機の届出等の施行状況でございますが、先月と変動はございません。自動販売機立入調査については、8 月は実施しておりません。

事務の施行経過については、以上でございます。

○会長 ご説明ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問等ございましたらお願いします。

それでは、ご質問がございませんので調査・審議事項に移りたいと思います。本日は、8 条指定図書類についての諮問、及び優良映画の推奨についての諮問でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

調査・審議事項は非公開となりますので、委員、事務局職員以外の方はこの段階でご退出をお願いいたします。

(傍聴人退出)

○会長 それでは、再開いたします。本日の諮問事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○若年支援事業課長 それでは、本日の諮問事項についてご説明いたします。皆様のお手元の資料のうち、「調査・審議事項」と記載されております資料にそってご説明いたします。

計 1 誌の 8 条指定図書類についての諮問でございます。「調査・審議事項」と記載されております資料の表紙をおめくりいただき、1 ページをご覧いただきたい

いと存じます。諮問第 1200 号でございます。2 ページをご覧くださいと存じます。諮問図書類及び指定基準該当箇所一覧でございます。こちらに記載された図書類は、令和 7 年 4 月 24 日から 8 月 25 日までの間に、都内のコンビニ・書店等で、青少年が容易に手に取り閲覧できる場所に陳列されているものから購入いたしました計 404 誌のうちから、7 ページ、8 ページに記載してございます、条例施行規則第 15 条の指定基準に基づきまして指定図書類の候補として選定したものでございます。作品名は、「CHOCOLAT COMICS『オメガ女王蜂』」、令和 7 年 7 月 31 日に株式会社心交社より発行されております。過去 1 年間の指定はございません。該当箇所につきましては、全編大部分でございます。該当指定基準は、施行規則第 15 条第 1 項第 1 号イ・ロ、著しく性的感情を刺激し、青少年の健全な成長を阻害するおそれがあるもの、でございます。購入場所は、書店でございます。

本審議会の諮問に先立ちまして、9 月 3 日に自主規制団体から意見を聴取して、3 ページに取りまとめてございます。3 ページをご覧くださいと存じます。当日は、13 名の方が出席されました。自主規制団体のご意見としましては「指定やむなし」の意見が 10 名です。その主な内容は、上から 5 番目ですが、「3 人の登場人物が織りなす B L 漫画。ストーリー展開は軽快で読みやすく、絵も綺麗。しかし、物語終盤での薬品を使用した集団レイプ行為への流れは、未遂とはいえ容認できない。そして、全編においての性器の消しの甘さが著しい。到底青年レベルを超えているので、指定該当やむなし。」などでございます。「指定非該当」の方は 2 名で、その内容は、一番下をご覧くださいかもしれませんが、「性器の消しの甘さはあるが、卑わい感を感じない。単純にストーリーの切り口や展開が面白いと思った。薬物等登場するが、話の中での前提なので問題はないと思う。暴力や人格否定も無い。指定非該当。」などでございます。保留の方は 1 名いらっしゃいました。

説明は以上でございます。

○会長 ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明について、ご質問はございますか。特によろしければ、それではそれぞれ調査に入ってください。

(図書審査)

○会長 皆さま、図書はご覧いただけましたでしょうか。それでは、調査を終了していただきましたので、各委員からご意見をお伺いしていきたいと思います。

それでは、佐久間委員からお願いいたします。

○佐久間委員 よろしくをお願いいたします。私の意見といたしましては、こちらはやはり、8条指定やむなしでお願いしたいと思います。理由としましては、やはり性器の修整が甘いということや性描写の点において、その点だけを見ても、これは指定該当やむなしと思います。以上です。

○会長 B委員、お願いします。

○B委員 物語の設定自体は、現実離れしたコミカルなストーリーで著しい卑わい感は感じませんが、如何せん消しが甘い。男性器がほぼそのまま描かれている箇所すらあります。該当やむなしと考えます。以上です。

○会長 榎本委員、お願いします。

○榎本委員 私も性器描写の修整が甘い、また、薬物使用の場面等もあることから指定該当やむなしでお願いします。

○会長 A委員、お願いします。

○A委員 性描写、性行為描写の量が多いので該当やむなしと思います。

○会長 C委員、お願いします。

○C委員 非現実的な架空の設定とは言え、背中の彫り物や言葉のやり取りから、反社の組織を想像させ、違法薬物に関する会話、目隠しや縛り等、器具使用の性行為、そういった場面もありまして、加えて性器の修整も非常に甘いため、該当やむなしと思います。

○会長 E委員、お願いします。

○E委員 多人数での性行為描写が多くありまして、また、性器の修整がなされ

ていないということで、指定該当でお願いいたします。

○会長 G 委員、お願いします。

○G 委員 性描写の量的に言っても指定該当には十分な理由になるかと思えます。以上です。

○会長 F 委員、お願いします。

○F 委員 私も指定該当やむなしでお願いいたします。性器の修整が甘く、薬を使用しての性行為、さらには、反社の組織のストーリーということで、とても青少年のレベルを超えているかと思えます。

○会長 D 委員、お願いします。

○D 委員 私は指定該当と判断いたします。以上です。

○会長 高島委員、お願いします。

○高島委員 私も指定該当やむなしと考えます。やはり薬物や拘束等、そういった場面もありますし、性器の修整の甘さも著しいと思えます。以上です。

○会長 伊藤貴行委員、お願いします。

○伊藤貴行委員 性器の修整も非常に甘いですし、薬で眠らせてから、そこで縛って集団でレイプする、というような流れも描いてありますので、私も指定該当やむなしと考えております。以上です。

○会長 私も同じようにやはり描写の甘さと内容で指定該当やむなしと考えているところでございます。

本日、諮問された図書類につきましては、本日出席の委員の皆様、全員が「指定該当」というご意見でしたので、そのように答申してよろしゅうございますか。それでは、1 誌指定ということで答申させていただきます。

それでは、続けて議事を進めさせていただきます。優良映画の推奨についてです。事務局から説明をお願いいたします。

○若年支援事業課長 それでは、「優良映画の推奨について」ご説明いたします。

資料 11 ページをご覧いただきたいと存じます。優良映画等の推奨に関する条例等を記載しております。条例施行規則の第 2 条、1 号から 6 号のいずれかに該当するものであると、推奨することとなります。

資料 12 ページをご覧いただきたいと存じます。諮問第 1199 号でございます。今回は 1 作品を諮問いたします。作品名は「みんな、おしゃべり!」、製作者名は記載のとおりでございます。令和 7 年 11 月 29 日から、渋谷ユーロスペース、チュプキタバタほかでの公開を予定しております。

14 ページをご覧いただきたいと存じます。こちらは、申請者からの申請内容でございます。「対象区分」は中学生、及び高校生、「推奨にふさわしい理由」は記載のとおりでございます。また、「青少年の健全な育成に有益とする」該当項目といたしましては、第 2 号「青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことに役立つもの」、第 3 号「青少年の人を慈しみ、大切に作る心を育てるもの」、第 5 号「青少年の思考力、批判力又は観察力を養うもの」という申請内容でございます。

15 ページをご覧いただきたいと存じます。こちらは事務局の案でございます。事務局の案といたしましては、条例施行規則第 2 条の推奨基準に照らしまして、ページ下段にございますとおり、「該当項目」は第 2 号、第 3 号、第 5 号、対象区分は、青少年、主として中学生、高校生を健全に育成する上で有益であると認め、中学生、高校生を対象に推奨を行うことといたしました。

説明は以上になります。

○会長 ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたら伺いいたします。

質問がなければ、それでは、条例施行規則に基づき青少年に優良な映画としての推奨に賛成なのか、反対なのか、また、対象区分についても推奨するか、しないか、あわせての評価をそれぞれお聞かせください。

それでは、佐久間委員、お願いいたします。

○佐久間委員 私は、優良映画の推奨に賛成でお願いしたいと思います。理由については、事務局の方で記載していただいている理由のとおりだと思います。特に、多様なマイノリティ同士の相互理解を深める、そういったことが非常にこの映画は深く、青少年に考えを深めさせるような内容であったと思います。また、推奨の基準、対象区分もこちらにあるとおり、2号、3号、5号こちらで適切であると私は思います。推奨対象も中高生ということで適切であると思います。以上です。

○会長 B委員、お願いいたします。

○B委員 私も推奨に相応しい映画だと思いました。良い意味で、予想を裏切られた映画であったと思います。テーマがテーマなだけに、シリアスなドキュメンタリータッチだと想像していたのですけれども、エンタメ度が予想外に高い、ハッピーエンドで終わるだろうなと思いながら見ていましたが、想像しない形でのハッピーエンドであった点も好ましく思いました。言語のコミュニケーションをテーマに、ろう者の親を持つ聴者の子供という、CODAとろう者とクルド人、というこの対立と不安、そういったレベルから相互理解と交流へと昇華させていく監督の手腕はかなりレベルが高いと思いました。主人公と思しきCODAと在日クルド人2世が不在のままに事態が急展開して解決していくという様は、予想外の展開でエンターテインメント性が高く、よくできていると思います。多くの青少年に見て欲しい映画だと思いました。対象区分、それから該当項目は提案のとおりで結構かと思います。以上です。

○会長 A委員、お願いいたします。

○A委員 コミュニケーション格差のトラブルの下で、多様な背景を持つ登場人物達の理解と繋がりを丁寧に描いており、青少年が理解を深めて知識を広げるのに役立つものであると思います。そして、青少年の他者を尊重し合い、大切に育てる心を育てるものであると思います。ただ、少し時間が長いので見ていらっしゃる方が飽きるのではないかなと。これだけ長くなると、意味が通らないのかもしれ

れないですが、少しお子さんにしては時間的に長いかもしれないから飽きてしまうのではないかなとそれを心配いたしました。ただ、大変良い作品だと思いますので推奨したいと思います。

○会長 榎本委員、お願いいたします。

○榎本委員 この映画は先入観やちょっとした偏見を持って人と接するのではなく、常に人と向き合う、理解するという姿勢で接すれば、例えば言語が通じなくとも、お互いが分かり合えるということを示した作品だと思います。今の現代社会においても実際に起こりうるのかと思いますので、中学生・高校生には是非見てもらいたいという思いがあります。対象区分、該当項目ともに事務局案でよろしくお願いいたします。

○会長 C委員、お願いします。

○C委員 推奨に賛成です。ろう者の親を持つ聴者とろう者、クルド人とのトラブルから始まり、相互理解ができていくまでの内容でしたけれども、言葉も国も、そして身体的なことも含めて様々なことが無意識の偏見や差別によって、それぞれの社会的立場が脅かされていくということは好ましいことではございません。マジョリティーも多様なマイノリティもお互いを理解することの大切さを学ぶということは、青少年の健全な育成には良い映画だと思います。年齢、推奨理由は事務局案と同じでございます。以上です。

○会長 E委員、お願いします。

○E委員 現代社会で生活していく中で、ろう者、クルド人、CODAの皆さんが関わり合いながら生活している様子を描いた作品で、ろう者の方やCODA役の熱演も見られる内容でございました。社会にある、こういった問題を描こうとする姿勢は、良いと思いましたけれども、映画作品としての完成度があまり高くないかなと感じてしまいましたので、保留でよろしくお願いいたします。

○会長 G委員、お願いします。

○G委員 推奨にしたいと思います。この映画を最初見て、まとまりが全く分か

らなくて見ておりましたが、クルド人が新たにオープンさせたお店で、電気設備からボヤがあったという辺りから少し展開が見えてきました。資料にもあるとおり、まず、コミュニケーションで相手を知るという部分では、言葉や道具等の手段ではなく、事務局案にあるとおり、「他者の存在を認めて理解し合う」ことが一番重要なことだと考えさせるものでした。

○会長 F 委員、お願いします。

○F 委員 私も推奨に賛成でお願いいたします。ろう者とクルド人、どちらも取り扱うのが難しいテーマではありますが、ユーモアがたっぷりで挑んでいる社会派コメディだな、と非常に頭が下がりました。通じ合わない、ろう者一家とクルド人一家のやり取り等は青少年に多様性を認めることの大切さについて意識してもらえる作品だと思いました。また、今は本当に少なくなった町の電器屋さんが舞台だったので、現代の我々のコミュニケーション不足についても考えさせられる作品でした。対象区分、該当項目は事務局案でよろしいかと思います。以上です。

○会長 D 委員、お願いします。

○D 委員 私も推奨に賛成でございます。いろいろな人たちが集まったコミュニケーションの難しさと、お互いに理解していくためには、やはり認め合って理解することが大切だと伝えている映画かなと思いました。推奨基準、それから対象区分ともに事務局案のとおりで結構です。以上です。

○会長 高島委員、お願いします。

○高島委員 私も推奨に賛成です。表面的な、差別をやめましょうというような内容というよりは、人間対人間の向き合い方の根本に関わる深い内容だなというように思いました。今までの価値観を大きく変えるような要素が満載でして、たくさんお伝えしたいことがあるのですけれども、絞ってお伝えいたします。言葉が通じないから分からない、ということではなく、言葉が通じないことで相手と向き合い、分かろうとすることから逃げてしまっている。だから分からないのだ

と思いました。考えていることが分からない相手に対して不安を感じ、自分たちを守るために攻撃的になるのもよく理解できました。分かろうとしないで起きてしまったトラブルも、一度分かろうとするようになると相手にもその気持ちを通じ、解決に繋がるということが分かりました。また、言葉とは何か、ということを考えさせられました。普段使う言葉とは、その言葉を使う人のアイデンティティーそのものと言っても良いのかもしれないと思いました。日本語を母語とする人たち同士でも相手の思いが分からない、分かろうとしないことがあります。そのことが、人間関係のトラブルの原因にもなっていると思います。分かろうとすることの大切さを痛感しました。人間に向き合う機会、直接向き合う機会が今、減っていると思います。青少年にはそういった状況の中で是非この映画を見て欲しいと強く思いました。対象区分と該当項目については、事務局案のとおりで良いと思います。以上です。

○会長 伊藤貴行委員、お願いします。

○伊藤貴行委員 私も推奨に賛成いたします。自分と異なるコミュニティや、言葉が通じないコミュニティにいる人を理解するのは難しいと思いますけれども、難しいからと言って拒絶するのではなく、存在を認めて理解しようとするのが重要であると思いますし、そのことを教えてくれる作品だと思います。対象区分や該当項目については、事務局案のとおりでよろしいかと思います。以上です。

○会長 ありがとうございます。私も皆様方のそれぞれのご意見で出尽くされておりますが、推奨に賛成でございます。

ということで、本日1名の委員の方が保留となっておりますけれども、他の委員の方が賛成ということでございますので、そのような形で答申をさせていただいてよろしいでしょうか。

また、対象区分等も事務局案どおりということで、そのように答申をさせていただきます。ありがとうございます。

それでは、以上で審議は終了しました。事務局から連絡事項等ございますか。

○若年支援事業課長 それでは、資料の 16 ページをご覧くださいと存じます。都民の申出は、メールによるものが 1 件、電話によるものが 1 件ございました。

メールによるものにつきましては、8 条指定図書類の指定に関するもので、「市販されている作品の中に、明確な性描写を含む内容でありながら、年齢確認や閲覧制限なしに購入可能なものがある。条例第 8 条に基づき、図書の指定を検討してほしい。」という内容の申出でした。この申出では、具体的に 3 誌の図書名を示されたので、事務局において当該図書類を確認したところ、性的な行為に及ぶ内容が含まれているものでしたが、著しく性的感情を刺激するとは言えないものであったため、条例施行規則第 15 条第 1 項の指定基準に該当するものとまではいえず、諮問には至らないと判断いたしました。

また、電話によるものにつきましては、屋外広告物に関するもので、「大きな交差点の角のビルの屋上に設置されている看板が卑わいである。全裸で四つん這いになって、お尻を突き出している巨乳の少女のキャラクターが描かれている。条例に基づき、指導等できないか。」という内容の申出でした。事務局において当該広告物を現地で確認したところ、著しく性的感情を刺激するとは言えないものであったため、条例施行規則第 28 条の指定基準に該当するものとは言えず、諮問には至らないと判断いたしました。

また、次回審議会に諮問予定の映画はございません。

なお、次回の審議会では、新たに複数の委員が加わる予定でございます。審議会の運営等に関する事項を改めてご説明をさせていただくとともに、委員のみなさまからご意見を伺う機会をいただければと考えております。

事務局からは以上です。

○会長 ただいまの説明、あるいは、本日の調査・審議事項について何か質問等ございましたらお伺いいたしますがよろしいでしょうか。

それでは、以上で調査・審議事項は終了となります。傍聴人の方が再入室いたしますので、調査・審議資料はしまって、図書については回収していただきますようよろしくお願いいたします。

(傍聴人再入室)

○会長 それでは議事を再開いたします。事務局からご説明をお願いいたします。

○若年支援事業課長 まず、本日の審議ですが、8条指定図書1誌について諮問を行い、1誌を東京都青少年の健全な育成に関する条例第8条第1項に該当する図書類として指定することが適当であるという答申となりました。

また、映画「みんな、おしゃべり！」につきまして諮問を行い、推奨することが適当であるという答申となりました。

また、本日、審議会に報告した都民の申出は2件ございました。

8条指定図書の告示予定日は令和7年9月12日（金曜日）、推奨映画の告示予定日は令和7年9月17日（水曜日）、プレス発表は告示日前日の令和7年9月11日（木曜日）となります。告示日もしくは告示日の前日まで8条指定図書の名称の公開をお控えいただくよう、重ねてお願い申し上げます。

最後に、次回の審議会についてご案内いたします。令和7年10月14日（火曜日）の15時30分から、場所は今回と同じこの会場を予定してございます。

以上でございます。

○会長 それでは、本日はこれで終了させていただきます。お疲れ様でございました。

(午後4時20分閉会)